

PROGRESSⅡ

仙台市立東華中学校
第3学年だより
第15号 2017.10.13
文責 保角真由美

平成29年度協働型努力目標
☆毎日学年と同じ時間以上の家庭学習をしよう ☆週に1回以上、自分以外のための何かの活動をしよう

～中学校最後の学期始動～

2学期が始まりました。いよいよ中学校生活最後の2学期です。登校日はあと90日です。この間、今後の人生を大きく左右するであろう進路決定が待ち受けています。始業式の校長先生の話の中に「節目を大切に」という話がありました。「竹には節があるから強く伸びていく。節がなければ折れてしまう。竹の節はマイナスな状態をプラスに変えて成長していく。皆も、この節目を大切にして、次なる目標に向けて努力すること。」さらに「周囲の誰からのアドバイスも吸収できる柔軟性も大切」という話もされました。充実した2学期にしてほしいと思います。

～1学期の反省～

4組 MS

私たち3年生は最高学年であり受験生でもあります。そんな3年生の課題は受験への意識がまだ低いことです。中間考査のときに行った学習時間の調査では、100時間を越えていたのは、わずか14人でした。また、生活面では定時着席ができていないことや授業中の私語など、休み時間との切り替えの悪さが課題となっています。できるはずのことができていないのは意識の低さの表れです。2学期はしっかり学習環境を整えてさらに学力向上を目指していかなければなりません。

そんな私たちですが、この1学期、合唱祭、東華祭などの行事で、学校を引っ張るリーダーとして活躍する3年生がたくさんいました。学年としても、皆で一つのことをやり遂げられる団結力も高まり、先日の弁論大会でのアトラクションも成功させることができ、来校した方々をおもてなすことができました。2学期になると受験卒業という言葉が身近に感じられるようになっていくのだと思います。私の2学期の目標は、苦手な教科を得意教科に変えることです。それを実現するためには苦手なことから逃げず、今まで以上に多くの学習時間を確保する必要があります。目標を達成するために、まずはメディア利用時間を減らし、下校後、家で過ごす時間を有効に使えるように工夫したいと思います。皆さんも目標が定まったら、一人一人心にとめてほしい言葉があります。今年の入学式で校長先生がおっしゃっていた言葉です。「かたつむりはゆっくり少しずつしか進むことはできない。しかし、進み続けることで高い所へも登ることができる。」一人一人が自分の目標をしっかりと持って生活し、卒業するとき自信を持って仙台市ナンバーワンの学年だったと言えるような2学期に、学年全員でしていきたいと思います。



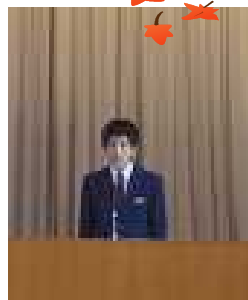
～2学期の抱負～

1組 YN

私たち3学年は「PROGRESSⅢ～たえまない前進～」という学年目標の下、様々な場面で成長してきました。そんな私たちもあと半年で卒業を迎えることとなります。

卒業までの半年で私たちは学力だけでなく、更に人としても成長しなければなりません。もうすぐ入試を控えている私たちですが、これまでの実力考査などで明らかになった個人個人の課題を日々の学習で解決していく必要があります。また、学年全体で休み時間の過ごし方、課題に対して取り組む意識など、入試に向けた雰囲気作りをしていかなければなりません。私は後期学年協議委員として、1週間の学習時間の目標を設定するなどの働き掛けをしていきたいと思います。

次に、1週間後に行われる運動会は私たち3年生にとって最後の行事となります。行事に向かう最上級生らしい姿勢を心掛けたいです。そして、先日の県駅伝大会では女子駅伝部が優勝し、全国大会連続出場という快挙を成し遂げました。私たちは、仙台市ナンバーワンの3学年を目指してきましたが、駅伝部の皆さんが身をもって示してくれた「努力は必ず報われる」ということを手本に、私たちも仙台市の更に上を目指さなければならぬと感じました。給食の配膳や毎日の清掃、元気な挨拶といった日常の当たり前のことから、宮城県ナンバーワンにとどまらず、日本一の3学年を目指していきたいです。卒業までの間私たちには多くの困難が待ち受けていることでしょう。そんなときだからこそ仲間と共に困難を乗り越え、全員が笑顔で東華中学校を巣立っていける、そんな学年でありたいと思います。



卒業まであと90日

「運動会学校スローガン」

